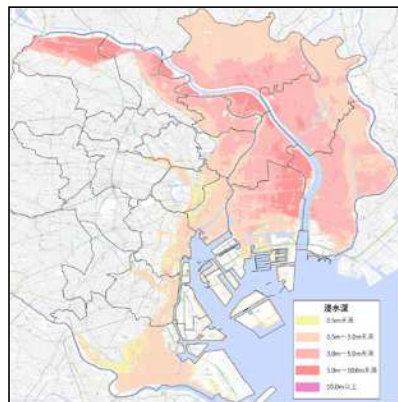


風水害に備えた様々な取組

総務局

① 東部低地帯での避難対策の推進

- 東部低地帯では、広範囲・長期間の浸水被害が想定
- 自治体の区域を越える広域的な避難が必要であり、**広域避難先の確保が急務**
- 渋谷区にある「国立オリンピックセンター」などを**広域避難先とする協定を締結**
- 引き続き、施設の確保とともに、開設運営方法を具体化し、広域避難対策を推進



浸水想定区域図
(荒川・江戸川・高潮の最大包絡)

② 大規模風水害に備えた合同訓練

- 風水害時の対処能力向上に向け、**都と中野区他5区市**と連携し、災害対策本部運営等の**図上訓練**を実施（令和5年6月）
- ▷情報連絡要員（リエゾン）を区に派遣し、互いの連絡態勢等を確認
- ▷台風接近前～通過後の各フェーズでの避難情報の発信や、避難所の開設のタイミングなどを区市と確認



都における各区市との情報共有

③ 適切な避難行動の啓発（セミナー開催）

- 風水害時に適切な避難行動がとれるよう、学校・区市町村・町会・企業等にて「東京マイ・タイムライン」を活用した**セミナー**を開催
- 早期避難の重要性の理解を深めるため、風水害の脅威を**疑似体験できる動画（VR）**を上映



都立高校でのセミナーの様子



VR動画等による風水害体験の様子

④ アプリを活用したマイ・タイムライン普及啓発

- 東京都防災アプリのコンテンツとしてアプリ版「東京マイ・タイムライン」を運用し、電車内広告等による広報を展開

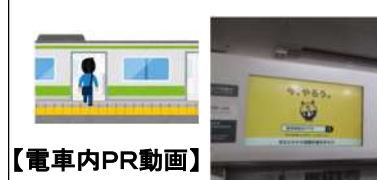
アプリ版の特色

「水害リスクマップ」で選択地点の水害リスクを視覚的に表示

チャットボット機能により手軽にマイ・タイムラインを作成

防災気象情報に関するプッシュ通知掲載のリンクから予め作成した「東京マイ・タイムライン」に誘導

主な広報展開



【電車内PR動画】



【駅構内デジタルサイネージ】